



# シカゴ 企業戦士たち

第五回

今回は1959年からJCCCが設立された1966年春までシカゴに駐在されておられました、赤松保雄様（元住友商事）にご執筆頂きました。

## シカゴの懐かしい思い出

赤松保雄

シカゴ日本商工会議所の40周年目の年に当たり、在住皆様の御努力に感謝し、心から御祝いを申し上げます。この記念すべき年に一筆思い出話を書いて欲しいとのご依頼を受けました。何分、古い話なので、記憶違いの場合もあるかと存じますが、御容赦下さる様御願い致します。

私が社命により、住友商事サンフランシスコの所長代理より、新設の初代事務所長として至急シカゴに赴任する事になり、1959年の11月末にオヘア空港に単身で降り立ちました。先ず驚いたのは、シスコと違って気温の低い事でした。シスコでは夏服ですんだのに、シカゴは想像以上の寒さでした。とりあえずタクシーにミシガン湖畔のドレークホテルまで案内して貰いました。何しろ、西も東も分からないので、地図を買い、市内事情を調査する一方、総領事館、ジェットロを始めとし既にシカゴに進出を果たして居られた三井物産、三菱商事、第一銀行、日本航空、川崎汽船等の代表者の方々に御挨拶を行いました。中でも、小沢総領事他外務領事館の方々、及びジェットロの伊藤所長、西川所長代理には大変親切に御教示を頂き、今でも深く感謝致して居ります。

幸いにもこの年にセント・ローレンス・シーウェイが完成し、日本からの輸入品が従来の陸路輸送に比べコスト競争力があがるようになり、弊社取扱いの鉄網製品等の大量輸入が可能になって来ました。只、何分にも日本製品に馴染みの少ない時である為、売り込みは非常な苦勞の連続でした。私の生活でも最大の苦勞

と思われたのは、シカゴの冬の最中、雪と氷の世界を車の背後に日本人のVPの方を乗せて何百キロ先の需要客までドライブして無事仕事を終えホテルまで送り届けてやっと一息つく有様でした。何よりも困ったのは、雪の為道路標識が消え真白になる為、帰途の道順の把握が極めて困難だった事です。道路は結氷してアイススケートを行う感じで眼の前で何度か自動車事故を見るにつけても、約7年足らずのシカゴ生活で無事故であった事は、一に神様の御蔭と今でも心から感謝して居ります。一方、事務所はサウスラサールストリートに開設し、徐々に従業員も増えて行きました。輸出入の取扱いも増えて来ました。楽しかった思い出としては、総領事館主催の年始のパーティーを初め、時折シカゴ在住の各社の代表者と交えての麻雀会や、四季を通じて楽しんだゴルフ会の思い出です。

中でも雪の上をカラーボールを使ってのゴルフは今でも楽しい思い出となっています。こうした遊びを通じて各社駐在員の間、他所では見られない親しい雰囲気が出来たと思います。今でも当時の仲間が東京で集まって年一回のイリノイ会を開き懇親を深めています。

一方、現地在住の増田さん、本田さん、堀さん、山田さん等には大変御世話になり今でも深く感謝しています。又、米国人でシカゴ在住の方々も、我々日本人を暖かく迎えてくれて、色々アドバイスを頂きました事にも心から有難く思っています。

総領事も小沢総領事、志水総領事、奈良総領事と三代にわたり大変御世話になり、今でも深く感謝しています。1966年春に長年住み馴れたシカゴを後にし、オヘア空港を旅立って帰国の途に着いた時は、第二の故郷シカゴを離れる万感の思いで胸が一杯でした。

この稿を終るに当たりまして心からJCCCの益々の御発展と在住皆様の御健勝を御祈り致します。